



特定行為を活用した地域活動の 実際と課題

つながる訪問看護ステーション所長

皮膚・排泄ケア特定認定看護師

加藤裕子



自己紹介



- 1998年 市立岸和田市民病院
- 2002年 日本看護協会認定看護師教育課程WOC学科
褥瘡管理者として専従
- 2012年 市立岸和田市民病院患者支援センター
- 2020年 大阪府看護協会 特定行為研修修了
(栄養管理 創傷管理 ろう孔管理)
- 2022年 つながる訪問看護ステーション所長 いとうまもる診療所顧問



つながる訪問看護ステーション



- 大阪府南部に位置する泉南郡熊取町
(堺市 熊取町に出張所)
- 機能強化型訪問看護療養費 I 算定
- スタッフ24名 (Ns 17名 PT3名 OT4名)
✓ 在宅ケア認定看護師B課程研修修了者1名
- 月平均訪問患者数 130~150名
- 年間看取り件数 約30件
- いとうまもる診療所はじめ複数の診療所・病院と連携

在宅でのケアに興味を持ったきっかけ



- 病院内の褥瘡予防に取り組み褥瘡発生率は1%未満へ



- しかし、、持ち込み褥瘡では重症な褥瘡が多い

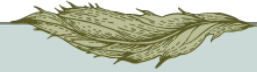


- 褥瘡外来を開設し在宅・施設の褥瘡ケアを行う



- しかし、褥瘡ができるようなほとんど動けない利用者を受診につれていくこと自体がかなり大変！

病院から地域へ



- 病院の訪問看護部スタッフと訪問同行
- 地域の訪問看護ステーションの同行訪問開始
- 回復期リハビリ病院や療養型病院、精神科専門病院などへの訪問
- デイサービスやグループホームへの訪問

病院からの訪問だけでは
できることが限られる！

2022年4月より 訪問看護ステーションへ



- 専門分野を活かしたタイムリーで頻繁な介入が可能
- より自宅での環境を踏まえたケア指導が可能
- 診療所の通院患者への直接的ケア・特定行為の実施
- 近隣の訪問看護ステーションからの同行訪問依頼で褥瘡ケア実施

在宅における特定行為 (創傷管理関連) の実践



- 80代 女性
- 認知症 パーキンソン病
- グループホーム入所中
- 車椅子全介助で移動可能
- 仙骨部にStageIVの褥瘡
- 特定行為の実施 (壊死組織の除去)

介入時



在宅における特定行為 (創傷管理関連) の実践



介入時



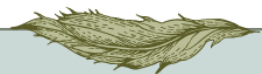
特定行為 (壊死組織の除去)



グループホーム退所時

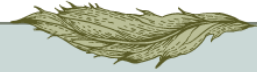


在宅における特定行為の実践の効果



- 主治医が褥瘡の専門医でない場合でも、協働しながら治療を進めていくことができる
- 専門医に受診することなく、自宅や施設で治療を継続することができる
- 医師の診療のタスクシフトとなる

特定行為実践における課題



- 特定行為に関する医師や訪問看護師への周知
 - － 活用を推進できる広報活動
- 在宅での特定行為実践中の安全性の担保
 - － 万が一の出血などにどう対応するか連絡をすぐに取りれる体制づくり
- 特定行為研修への参加の難しさ
 - － 半年間の研修を受講できる職場内の環境調整



ありがとう
ございました

